

JPDA 11月定例理事会議事録

日 時：令和元年11月20日（水）午後1時30分～午後6時

場 所：文京シビックセンター（区民会議室） 3階 会議室2

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中21名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、加藤芳夫、小原 司、竹内清高、中越 出、永田麻美、中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

欠席届3名（畝野裕司、鈴木智晴、高田知之）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡、
池田 毅、時田秀久

議事の経過

定款第31条（議長）により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者23名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、池田 毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

（承認事項はゴシック、議案協のP.は議案書の該当ページ）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人2社、個人4人から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

（1）法人会員（2社）

<東日本>

1. カルビー株式会社 【推薦者＝加藤芳夫】

<西日本>

2. クルツジャパン株式会社 【推薦者＝松尾政明】

（2）個人会員（4人）

<東日本>

1. 島岡 千佳子（しまおか ちかこ）【推薦者＝松尾 政明】
2. 飯塚 浩太（いづか こうた）【推薦者＝加藤 大介（Ondo(株)）】

<中日本>

3. 平井 秀和（ひらい ひでかず） 【推薦者＝伊藤 透】

<西日本>

4. 長岡 佐恵（ながおか さえ） 【推薦者＝宮本 泰志】

第2号議案 再入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人1社、個人1人から再入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 法人会員（1社）

<東日本>

1. 株式会社ブランドクリエイト

((株)ブランドクリエイトは2016年7月に一度退会しているが、一時休止していたナショナルブランドのパッケージデザイン業務を再開したため、業界情報の取得と他のデザイナーとの交流を目的に再入会したいとのこと)

(2) 個人会員（1人）

<西日本>

1. 松尾 政明（まつお まさあき）

(松尾氏は西日本法人会員(株)サンデザインアソシエーツの代表であったが、11月1日付けで代表を竹澤氏に譲り、個人会員として再入会したいとのこと)

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の法人会員2社、個人会員4人の退会を承認した。

(1) 法人会員（2社）

<東日本>

1. 有限会社オフィスLEE 【令和元年10月退会希望】

(デジタルへの移行が進み、パッケージに関する業務が大幅に減ったため)

2. アルテアエンジニアリング 株式会社 【令和元年11月退会希望】

(デザイナー退職により、活動範囲が縮小したため)

(2) 個人会員（4人）

<東日本>

1. 竹澤 さつき (たけざわ さつき) 【令和元年10月退会希望】
(西日本法人会員(株)サンデザインアソシエーツの代表となるため)
 2. 河鍋 春恵 (かわなべ はるえ) 【令和元年12月退会希望】
(協会の活動に参加できず、総合的に見て退会を選んだ)
 3. 谷田部 久美子 (やたべ くみこ) 【令和元年12月退会希望】
(協会の活動に参加できず、総合的に見て退会を選んだ)
- ※河鍋さん、谷田部さんは同じ会社((株)スタジオ・マッス)に勤務
<西日本>
4. 土田 愛子 (つちだ あいこ) 【令和元年10月退会希望】
(神谷利男デザイン事務所を退社するため)

第4号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記7件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(各件の詳細は議案書P.31~55)

(1) 協力名義の継続使用依頼 (1件)

- ・光と音のシンフォニー「ライティング・オブジェ 2019」

※企業メセナ協議会 助成認定活動 JN1902-021

(2019年12月12日~22日)

東京国際フォーラム・東京ビルTOKIAギャラリー・KITTE)

主催：ライティングオブジェ制作委員会

(2) 後援名義の使用依頼 (4件)

- ・「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2019」

(2019年11月20日~22日 東京ビッグサイト)

主催：一般社団法人日本家具産業振興会

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

- ・「学生照明展2020」

(2020年3月19日~21日 The 8th Gallery)

主催：学生照明展実行委員会

- ・「Next Eco Design」展 2019」

(2019年12月5~7日 エコプロ2019=東京ビッグサイト 西4ホール)

主催：公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

- ・「第59回 2020年 ジャパンパッケージングコンペティション」

募集期間：2019年11月21日~2020年1月30日

審査日時：2020年1月31日（金） 10:00～17:00

審査場所：日本印刷会館 2階展示室

※審査員として伊藤理事長、加藤専務理事の内諾を得ています。

JPDA賞：デザインの的に特に優れているもの1点（賞状）

授賞式：2020年4月14日（火） 如水会館にて

主催：一般社団法人日本印刷産業連合会

（3）協賛名義の使用依頼（2件）

・「page 2020」（テーマ：デジタル×紙×マーケティング for Business）

（2020年2月5～7日 サンシャインシティ・コンベンションセンター TOKYO）

主催：公益社団法人日本印刷技術協会

・「第89回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020」

「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020 第7回 LIFE & DESIGN」

（2020年2月5日～7日 東京ビッグサイト 全館）

主催：株式会社ビジネスガイド社

第5号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・9/11 APD内容委員会、定例理事会
 - ・9/12 デザイン保護セミナー
 - ・9/18 60周年展覧会企画会議
 - ・9/19 調査研究セミナー
 - ・9/25 60周年デザイン学校打合せ
 - ・9/27 「現代日本のパッケージ展」オープニングパーティーでスピーチ
（印刷博物館）
 - ・10/2 内閣府立入検査立会い
 - ・10/9 APD内容委員会、60周年展覧会企画会議
 - ・10/16 名古屋出張（中部デザイン団体協議会、平井秀和氏、ブラザー工業を訪問・面談）
 - ・10/19 アスパック国内決勝審査会
 - ・10/28 「サトウとカトウ」JPDA/JAGDAデザインセミナー
 - ・10/29 東日本委員会
 - ・11/1 勝井三雄氏を偲ぶ会に出席
 - ・11/8 APD代表者会議（奈良）に出席

- ・ 11/9 西日本勉強会③
 - ・ 11/11 JPDA三役会議（委員会再編他 打合せ）
 - ・ 11/13 60周年デザイン学校打合せ
 - ・ 11/15 アーカイブ展パネルディスカッション
 - ・ 11/20 JPDA定例理事会
- 井上副理事長報告
- ・ 9/11 APD内容委員会、定例理事会
 - ・ 9/17 西日本委員会打合せ
 - ・ 9/30 西日本委員会打合せ
 - ・ 10/1 APD代表者会議事前打合せ
 - ・ 10/9 APD代表者会議事前打合せ
 - ・ 10/28 「サトウとカトウ」JPDA/JAGDAデザインセミナー
 - ・ 10/31 APD代表者会議・西日本勉強会打合せ
 - ・ 11/8 APD代表者会議（奈良）に出席
 - ・ 11/9 西日本勉強会＜あえる＞③：タイ ソムチャナ氏・台湾 オーエン氏
講演会と交流会
 - ・ 11/11 JPDA三役会議（委員会再編他 打合せ）
 - ・ 11/20 JPDA定例理事会
- 加藤専務理事報告
- ・ 9/11 APD内容委員会、定例理事会
 - ・ 9/18 60周年展覧会企画会議
 - ・ 9/19 60周年デザイン学校内容報告（日経デザイン）
 - ・ 9/25 60周年デザイン学校打合せ
 - ・ 9/27 「現代日本のパッケージ展」オープニングパーティー
（印刷博物館）
 - ・ 10/9 APD内容委員会、60周年展覧会企画会議
 - ・ 10/10 APD・国内交流・東日本合同委員会
 - ・ 10/19 アスパック国内決勝審査会
 - ・ 10/28 「サトウとカトウ」JPDA/JAGDAデザインセミナー
 - ・ 10/29 おいしい東北デザインコンペ審査会（仙台エルパーク）
 - ・ 10/30 おいしい東北デザイン展審査会
 - ・ 11/1 勝井三雄氏を偲ぶ会に出席、60周年展覧会企画会議
 - ・ 11/8 APD代表者会議（奈良）に出席
 - ・ 11/9 西日本勉強会③
 - ・ 11/11 JPDA三役会議（委員会再編他 打合せ）
 - ・ 11/13 60周年デザイン学校打合せ

第6号議案 2020年度・顕彰者推薦候補者選定承認の件

渡邊事務局長より、理事により推薦された個人2名、法人3社について、推薦理由と外部アドバイザーからの意見の説明があり、当日出席理事21名による無記名投票の結果、加藤芳夫氏（前JPDA理事長）が選出された。

※推薦された法人1社は以前同賞を受賞されていたため今回は選出を見送った。

第7号議案 【規定 7】 役員の報酬等及び費用に関する規定の改訂について

渡邊事務局長より、規定を変更する理由（内閣府の立入検査時に、内閣府より、実態に則した内容に変更すべきとの指摘があったこと）の説明後改訂案が紹介され、理事全員の賛同を得て承認された。（改定案は議案書のP. 59）

第8号議案 事務局報告

渡邊事務局長より議案書に沿って以下の報告があった。

1. 10月2日の内閣府立入検査に関する報告（議案書P. 65～66）
2. 2020年度予算案について（第1回目報告）（議案書P. 67～69）
 - ・ JPDAの収益、費用は事業内容が2年サイクルになっているので、平成30年度の実績と比較していただきたい。
 - ・ 経常収益計は平成30年度の実績と比べて大幅に上回っているが、それは60周年記念事業積立金の取崩し、60周年記念事業であるデザイン学校やAPD（アジアパッケージデザイン会議）の収益が加わったこと、及び、交流会費全体が約2倍になっていることに起因している。
しかし、一方で個人会員数の減少と法人会員数の微増は続いており、入会金、会費といった定収入が横ばい状態になっている。
 - ・ 経常費用計も収益と同様に、60周年事業積立金の取崩しによる費用増、交流会費全体の増加によるものである。
 - ・ 1回目の集計では、経常収益9,025万円、経常費用8,810万円で経常増減額は216万円となっているが、さらに精度を上げて1月の理事会で再度報告したい。
 - ・ 各委員会から報告があった予算案の中で、60周年積立金からの拠出を希望しているのは、60周年特別号を作る広報が100万円（伊藤理事長のサジェスションもあり）、APD＋国内デザイン会議で1,240万円、企画展が97万円の合計1,440万円となっている。まだ余裕があるので、2021年2月に東京ビッグサイトで予定されている「東京パック」

で「JPDA大賞2021」の巡回展を開催することにより60万、会員数の減少に苦しむ愛知岐阜地区の活性化費用として100万円を追加したい。詳細は1月の理事会で報告する。

3. 役員選挙について（10/25締切の役員推薦状況）

- ・10月下旬の締切までに役員立候補、推薦の連絡をいただいたのが64名。立候補した方は9名、推薦された方は延べ78名であった。
- ・また、理事推薦票は延べ204票、監事推薦票は延べ42票であった。
- ・12月上旬に投票ハガキを含めた資料一式を全会員に郵送する予定。（年内中の消印まで有効）

4. JPDA大賞審査員選挙の速報（11/15締切）

- ・11/15の締切までに寄せられた投票者数は129名、総投票数は1,385票であった。
- ・投票上位約40名の方々に受諾確認をとったが、数名を残し了解をいただいている。

5. 会員名簿・年賀状の作成について

- ・会員への発送は年内に終える予定。（パッケージデザイン学校のパンフレットを同封）

6. 1月定例理事会・東日本新年デザイン交歓会2020の開催概要（議案書P. 63）

7. 今後のスケジュール

- ・イベント関係は議案書P. 70、総会・理事会はP. 64。

8. その他報告事項

（1）経産省からの協会内周知の依頼

（公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について：議案書P. 71～72参照）

（2）D-8ジャパンデザインミュージアム構想 研究発表会 in 金沢について

（議案書P. 73～74）

（3）2025年大阪・関西万博 ロゴマークの公募について（議案書P. 75～76）

（4）おいしい東北パッケージデザイン展について（議案書P. 77～80）

（5）『包装技術10月号』（包装技術協会）への山崎理事、中越理事、三原理事の記事執筆について（当該号を回覧）

第9号議案 委員会報告

<決済事項>（4件）

● 調査研究

- ・中越理事より、資料に基づき、9月19日に開催された「パッケージデザインの価値はどうか【第2回研究会：ザ・買い物】」についての活動報告と収支報告があった。
- ・当日のアンケートでは、研究会でのグループディスカッションに対する好意的な意見が多く聞かれた。当日日報ビジネス社の取材があり、後日『包装タイムス』、『カート

ンボックス』誌に写真入りの記事が掲載されるとのこと。

当日の参加者は新規会員16名、継続会員8名、一般新規4名、継続新規2名
学生2名の計32名であった。

次の第3回研究会は2020年3月に開催される予定。

- ・また、以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入 88,000円、支出 79,043円、協会補助金 0円、収支差額 +8,957円

● 中日本（富山デザインフェア、トークカフェ）

- ・ 畝野理事が欠席のため、渡邊事務局長が「富山デザインフェア2019」と「JPDA Talk Café 2019 in TOYAMA」2件について、活動報告と収支報告の資料を代読した。

<富山デザインフェア2019>

- ・ 毎年富山市との共催で、10/4～6に開催された「富山デザインフェア2019」では、富山県内外の学生から公募した学生のパッケージデザインコンペティションの作品とともに、JPDA大賞2019の入賞作品も展示（巡回展の一環）された。
- ・ また、以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入：100,000円、支出 111,783円、協会補助：30,000円、

収支差額：+18,217円

<JPDA Talk café 2019 in TOYAMA>

- ・ 今回は「日本パッケージデザイン大賞2019」において金賞をダブル受賞された(株)ライトパブリシティーの鈴木奈々瀬氏と飲料部門の金賞受賞者である(株)富山スガキの金森健司氏をパネリストに招き、多くの事例をもとに、新しいデザインを生み出す時のクライアントとの友好関係の築き方とアイデアを重視したデザイン企画の作り方について語っていただいた。

当日の参加者は会員12名、学生10名の計22名であった。

- ・ また、以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入：18,000円、支出 85,407円、協会補助：55,000円、

収支差額：-12,407円

● 教育

- ・ 永田理事より、資料に基づき、10/28に東洋インキ大会議室で開催された「<サトウとカトウ>グラフィックデザインとパッケージデザインはちがうんです」についての活動報告と収支報告があった。
- ・ 今回のセミナーは梅原理事の発案のもと、JPDA vs JAGDAという、今までにない試みであったが、タイトルの強いインパクトと大量のチラシを様々な場所で配布したことが奏功し、過去に例を見ない300名近い参加者（スタッフ含む）で、会場はあふれ

んばかりの盛況となった。

終了後のアンケートでもほとんどの方から好評価をいただき、今後も同様の企画を考
えてほしいという声が多く聞かれた。

当日は会員187名、非会員（JAGDA会員を含む）65名、学生20名の計272名であった。

- ・発案者である梅原理事からは「今回のセミナーは、全くりハーサルをしなかったこと
による荒っぽさが出たという反省点はあるが、参加者240名の目標を10日間で締め切
ったことは、企画と入り口の導入部分のデザインをしっかりとやれば集客はできるとい
うこと、言い換えれば、メッセージの出し方で人は反応するということを証明したと
思う。今日の理事会終了後、反省会含めてこれから先どうしていくかを教育委員会
のメンバーと話し合うことになっている。」とのコメントがあった。
- ・登壇者の一人加藤専務理事からは「まず企画がよかったことと、ネーミングとグラフ
ィックが刺激的だったことがよかった。さらに、いままでになかったほど大量のパン
フレットを配布したことが新たな広報活動として集客につながったと思う。
また、今回のセミナーに協力いただいたJAGDAの佐藤会長にも刺激的なセミナーで
よかったという感想をいただいております、2020年11月のAPDの講師を引き受けていた
いただいたことも大きな収穫の一つと言える。」とのコメントがあった。
- ・また、以下の収支報告が承認された。なお、JAGDAとの共催ということで、加藤専
務理事の謝礼はJAGDAが、佐藤会長と梅原理事への謝礼はJPDAが負担した。
公益会計：収入：691,680円、支出 353,710円、協会補助：0円、
収支差額：+337,970円
- ・井上副理事長、加藤専務理事より、収支がプラスになったときの使い方を議論してい
く必要があるとの意見がでた。今後の検討課題としたい。

<報告事項>

○ デザイン保護

- ・高田理事が欠席のため、渡邊事務局長より資料に基づき、HPレポートページの公開
状況、9月に開催した知財セミナーの結果、11月から開催される知財塾3回の日程、
2020年度の活動計画等が報告された。
- ・9月12日、原田雅美氏を講師に招いて、東洋インキ会議室で開催されたセミナー<似
ている（類似）？、似ていない（非類似）？、デザイナーのための類非判断セミナー
>は、54名の参加者であった。（会員45名、非会員9名、弁理士4名）
- ・2020年度は6月に若手弁理士を講師とする知財セミナーを1回、年度後半に勉強会を
計画している。

○ アスパック

- ・江藤理事より、資料に基づき、今年度のアスパック国内第二次審査の進捗状況と入賞者・入選者の紹介、及び今後の予定（スケジュール）についての報告があった。
- ・実際に審査を行った加藤専務理事からは、「今回の入賞作品は、アイデアは面白いが作品としての完成度はやはりいま一つであった。他の国（中国など）と日本との環境の違いでやむを得ないところはあるが・・・。」とのコメントがあった。

○ 西日本

- ・三原理事より、資料に基づき、11月9日、大阪駅近くのグランフロント大阪ナレッジサロンで開催された西日本勉強会あえるVol.3「世界が沸くデザインの異才」のセミナーと終了後の交流会についての報告があった。
参加者は41名（会員37名、一般4名）であった。（収支報告は次回理事会で報告）
- ・今回の講師は前日のAPD代表者会議のために来日されたタイパッケージデザイン協会前代表のソムチャナ氏と台湾パッケージデザイン協会会長のオーエン氏の2名。
ソムチャナ氏は自ら開発されたデザインのチェックシートを披露して、かれの会社で取り組んでいる仕事を具体的に紹介され、オーエン氏は様々なアプローチで「台湾文化」を多方面に発信されている内容について詳細に語っていただいた。会場の参加者は紹介されるスライドの写真をとりながら熱心に聞き入っていた。
- ・交流会では、世界的に活躍されている方々ではお二人ではあるが、大変気さくで親近感があり、終了後の交流会も大変盛り上がった。
- ・藤田理事から、ソムチャナ氏から紹介のあった、飲料水で行方不明者を捜すという社会的な活動を含めたパッケージは意外な感じがあり面白かったという意見があった。
- ・江藤理事、加藤専務理事からも全体を通じてよかったという感想をいただいた。

○ アーカイブ

- ・入江理事より、11月6日～16日の間、グッドデザイン丸の内で開催された「第1回アーカイブ展」と期間中の11月15日に東洋インキ会議室で開催された第2回セミナー「平成という時代とパッケージデザイン」についての活動報告があった。
- ・展覧会は期間中4,084名の来場者があり大盛況であった。前年同時期の展覧会では2,000名程度の来場者だったとのことで、会場であるグッドデザイン丸の内からは感謝された。
来場者は、パッケージ関係者だけでなく、近隣のサラリーマン、外国人観光客等一般の方々も多く来場され、公益性の高い展覧会だったと考えている。また、終了後、今回の展覧会でお借りした作品のうちから何点かの寄贈の申し出もあった。
- ・セミナーは武蔵野美術大学名誉教授 柏木 博氏の講演のあと、サントリー(株)の水口洋二氏、(株)資生堂の信藤洋二氏（アーカイブ委員会担当理事）を交えたパネルディ

スカッションに移った。

参加者は71名。終了後、面白い内容だったとの声を多くいただいた。

・伊藤理事長より、事後のアンケートをとってほしいとの指示があった。

○ 60周年パッケージデザイン学校

・パッケージデザイン学校のプロデューサーでもある小川亮理事より、完成したパンフレットをもとに進捗状況の報告があった。

・HPの申込みサイトも完成しており、申込者を確保する活動を始めているが、すでに朝日飲料から2席、ミツカンから2席、マンダムから1席の予約をいただいている。

＜このあと、PR用として、加藤専務理事（パッケージデザイン学校校長）がパンフレットを使って学校の内容を紹介する、理事会風景の動画撮影を行った。＞

・小原理事から、「ある程度の規模の会社は興味はあると思うが、全部を一人で受講するというよりも、何人かで交替に受講できるようにできればさらに申込みしやすいのではないだろうか。」という意見があった。

また、梅原理事からも、「地方自治体でも担当課が分かれているので、そのニーズにあった受講ができた方がよいと思う。」との意見がでた。

○ インターネット

・中越理事より、資料に基づき、サイトの更新状況、イベント終了後レポートが未着の委員会についての報告があった。

毎回お願いしているが、イベント終了後は速やかにレポートを送ってほしいとのこと。

○ 広報

・中森理事より、刊行が遅れていたJPDA MAGAZINE Vol. 3が完成したことと、次回Vol. 4の内容についての報告があった。

○ 60周年APD

・森理事より、配布資料に基づき、11/8に行われたAPD代表者会議（上海、台湾、韓国、タイの代表者が出席）についての報告があった。

・2020年11月のAPDタイトルとして” Think Future Design” を提案した。また、今回の代表者会議の重要テーマ（新しい企画の提案）は以下の2点だが、タイトルも含めて全て出席者の同意を得ることができた。

(1) いままではAPDに出品した作品集を制作していたが、今回からは本ではなくAPDのWebサイトを立ち上げて、そこに作品を掲載するようにしたいこと。

(2) いままではなかったが、終了後外部に対して「共同発表」(Joint Announcement)を発表すること。

(素案をJPDAが作り、後日各国に確認した上で決定する。)

・展覧会については、同時期に開催を予定している第3回創作展と同じ会場（奈良バス

ターミナル) に展示する検討を進めているとのこと。

○ 60周年コンペティション

- ・小原理事より、配布資料に基づき、日本パッケージデザイン大賞2021に向けた準備の進捗状況について、以下4点の報告があった。

(1) 前回の理事会で、**新しい審査基準**として「1. 創造性」、「2. 審美性」、「3. 機能性」、「4. 市場性」、「5. 社会性」という5つのキーワードを提案したが、もう少しわかり易い表現にしてほしいという指摘があり、委員会で検討した結果、以下を再提案したい。

「1. 創造性__未来を切り開く新しいデザイン(Innovative)」

「2. 審美性__美しさや魅力を感じるデザイン(Aesthetics)」

「3. 機能性__伝わりやすい/使いやすいデザイン(Easy to Understand/Usability)」

「4. 市場性__買いたくなる/時代をとらえたデザイン(Marketability)」

「5. 社会性__社会に貢献するデザイン・(Social Responsibility)」

数名の理事から、前回よりもわかりやすくなってよいとの意見が出た。

(2) 審査員の選定については一次審査員は前回の大賞の金賞受賞者10名は全員確定。

選挙で当選した会員審査員38名はあと数名を残して受諾の確認が終了している。

また、二次審査員は前回の大賞受賞者は確認済。会員審査員は選挙の上位11名について確認中。

外部特別審査員は候補を出してこれから承諾の確認を行う予定。

(3) **審査料**は、従来の料金体系が点数によって金額が変わるので非常にわかりにくい煩雑なものであったが、次回からは、点数に関係なく**一律10,000円(税別)**としたい。

(4) 一次審査は映像審査になるが、審査員に負担が少ない、審査しやすい画面作りを推進中である。

- ・今回の提案は理事会の総意として承認されたが、スケジュールでは一次審査の日程に訂正があった。(正しい一次審査日程：2020/5/29～6/4)

- ・小川亮理事から、「最近のパッケージは使いやすさだけでなく、「使う時の楽しさ」が重視されるようになってきていると思う。審査基準にその辺を加味することを考えてほしい」という意見が出て、コンペ委員会で検討することになった。

●以上の検討事項はとくに異論がなかったことから、**提案通り進めること**となった。

○ 60周年インデックス

- ・山崎理事より「申込みが順調で、予定よりも50ページ以上増える見込み。」との報告があった。

第10号議案 デザインを強くする委員会活動(委員会再編について)

井上副理事長より、スライド資料と議案書資料に基づき、協会の財務状況を含めたいまま

での検討経緯の説明のあと、今後の委員会再編の考え方についての提案があった。

「基本的には、いままで細分化された委員会がその中で活動計画を組み立て、実行していたが、例えば名古屋で巡回展を行うとか、東西共通のセミナーを行うなど、地域や委員会特性に留まらない大きい視野での委員会活動にしていきたいと考えた結果の提案である。」

<提案内容の骨子>

- ・現在15ある委員会を大きく「**価値創造委員会**」、「**学習交流委員会**」、「**情報発信委員会**」の3つに統合し、新たに**中長期の戦略を考え、組み立てる「未来計画委員会」**を設置する。なお、短期的な戦略は3つの委員会が考えることとする。

現在の委員会では調査研究・デザイン保護・アーカイブは「価値創造委員会」に、国際交流・国内交流・東・中・西日本・D-8関連（業界交流）は「学習委員会」に、広報・インターネット・展覧会・出版は「情報発信委員会」に入る。

- ・**協会理事は価値創造、学習交流、情報発信のどれか一つの委員会を担当し（任期は連続3期=6年まで）、担当委員会の活動方針、予算計画の策定を行う。**また、担当理事はそれぞれの委員会の委員長を選出するとともに、実行部隊の編成を行う。

- ・実行部隊は現委員会をもとに組織し、**全会員（個人会員、法人の場合も個人）はどこかに所属することとする。**（任期移籍の制限はなし）

また、実行部隊は実際の活動計画を組み立て実行に移すとともに、広報資料の作成と実施記録、終了後の報告を行う。

- ・現在のビッグイベントである**パッケージデザイン大賞（価値創造）、デザイン会議（学習交流）、展覧会（情報発信）は期間プロジェクトとし、各担当委員会の担当理事が主体**となって、全部会からスタッフを人選し推進する。

- ・スケジュール的には、**2020年度は現在の委員会が、現在検討されつつある予算案に基づき活動を推進**していくが、新委員会については今年度中（2020年1～3月）にその検証議論をスタートさせ、新役員が決まったあと、**5月末の総会で新委員会計画を発表して2021年度の活動・予算案の検討を始める**とともに、各委員会で2021年の1～3月に実行部隊の編成を行って、実施に向けた準備を行っていくこととしたい。

<出席理事・監事からの意見（敬称略）>

- ・現在の委員会はそれぞれがインデペンデントになっていると思う。これからは多すぎる委員会を再編成しJPDAとしての大きなベクトルにまとめて、全体の構図を作っていくための方法論としてはよいと思う。（梅原）

- ・現在の委員会活動では担当理事が専門家になりすぎているように見える。JPDAとして全体の意見をまとめていくためにはこの案は賛成である。是非推進してほしい。（池田）

- ・とりあえず当面は現在の委員会メンバーで進めていき、その中で話し合いを持って行くという考え方でよろしいか。（牛島）⇒そのとおりである。（井上）

・ともかくやってみないことには善し悪しの判断は難しい。とくに異論がなければこの案を進めたいと思う。(伊藤)

●結論的にこの案を進めることとなった。

第11号議案 次回理事会開催について

日時：令和2年1月28日(火) 午後1時00分～5時00分

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前

※ 当日は、「2020年新年デザイン交換会」を、日比谷レストラン「アラスカ」での開催を予定しておりますので、中日本・西日本の役員の皆様も是非ご出席ください。

以 上